合成洗剤を追放しよう!!

生命のふるさと
海を守るために

拓水

8月号　No.335
一部　10円
（会員の購読料は指導事業経費より支払されています）
発行所　兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
神戸市兵庫区中之島 2の2の1
TEL　681－6954～7
発行人　兵庫県漁業協同組合連合会

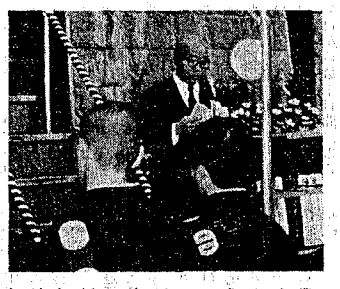
第九回兵庫県漁民物故者合同供養祭とり行われる

主催　兵庫県漁業協同組合連合会

六五〇八柱の御尊霊を祭祀

兵庫県漁連では、七月二十一日、震地高野山において県当局者をはじめ、財団法人・漁船海難遺児育英会、前田専務、県下漁協系統団体及び関係諸団体の代表の方々多数の臨席を得、盛大かつ厳かにとり行なわれた。この供養祭は毎年一回高野山奥の院に建立されている兵庫県漁民物故者合同慰霊塔＝漁友鎮魂の塔並びに海の幸供養塔前において、物故された漁協関係者の供養を行うもので、県下の漁業者、遺族が合同して供養を行っており、本年度は二百三十三名（漁業関係者百七十五名、漁業関係婦人五十八名）が新たに合祀された。参列者は県下各浦々から早朝、又前夜よりの宿泊者合せて三百余名が震地に集まり、物故された方々の生前の業績を偲び、その遺志を受け継ぐとともに、決意を新たに水産業の発展を誓い合った。前夜からの大雨に続き当日も集中豪雨に見まわれたが、弘法大師のお導かの不思議にも祭事の間は雨一筋降らなかったのである。

主催者を代表し、山田岸松漁連会長は、挨拶で慰霊塔の前に額づき、漁業操業の安全に万全を期するとともに、団結の輪を固めて当面する難関を克服する重要性を強調しました。又追悼のことばに立たれた、永田兵庫県農林水産部次長、漁船海難遺児育英会前田専務は、物故された方々の冥福をお祈りされるとともに水産業界に課せられた使命の重要性とそれら施策の拡充に努めることを強調した。遺族の中には、大型船の激突事故により、息子さんを奪われた母親の姿も見られ、遺族一人一人は思い思いの気持を込め焼香し祭事を終了した。



勲五等瑞宝章を受章
柳田弦市氏
（妻鹿漁協組合長）

叙勲受章で喜びのご夫婦

去る4月皇居において勲五等瑞宝章受章の栄に浴された柳田弦市氏（妻鹿漁協組合長）の叙勲受章祝賀会が七月十日、播磨漁友会館で催された。

当日、国、県、業界をはじめとして二五〇余名が出席、同氏の叙勲を祝った。

柳田氏は大正十三年高等小学校を卒業後、昭和十六年家業の漁業に従事。

戦後、昭和二四年の妻鹿漁業協同組合設立と同時に組合長理事に就任、以来三五年にわたり、臨海開発が進む中で水産公害対策・漁港の建設、漁業調整をはじめ地域漁業の育成・振興・発展に尽力された。

また、兵庫県漁業協同組合連合会をはじめ水産系統団体の要職にあってその旺盛な責任感と卓越した実践力で水産業界の諸課題に対処された功績は衆目の賞賛するところで、温厚誠実にして真摯な態度、清廉実直な言動は漁業者から敬愛され、漁村の指導者の範として高く評価されている。

きびしさを増す漁業環境の中で、同氏の今後一層の活躍が期待されている。

漁業共済・共水連
事業の優績表彰！

去る七月五日、東京丸の内・帝国劇場において、「農林水産大臣をはじめ関係者多数の出席のもとに開催された「ぎょさい創設20周年記念」昭和59年度漁協共済推進全国大会」で、優れた成績の団体、個人に表彰状と記念品が授与されました。本県関係は次のとおりです

水産庁長官賞
神戸市漁協
西上重弐（感謝状）

漁済連会長賞
東由良町、丸山、竹野浜、柴山港、浜坂町各漁協。
樫本　実、山田岸松、信川純雄、岸　峯夫、澤田義巳、木下　守、寺川恒明、塩谷　弊、川田健治、稲葉みさゑ、川越仙一の各氏

（以上漁業共済関係）

全漁連会長賞
室津、津居山港、香住町各漁協。

共水連会長賞
明石浦、林崎、高砂、伊保、坊勢、淡路町、沼島各漁協。

（以上共水連関係）

兵庫県瀬戸内海、但馬地区
漁業調整委員会決まる

兵庫県瀬戸内海、但馬両海区の漁業調整委員会委員選挙が二十四日告示され、同日締め切られた。両海区とも定数通りの立候補者で、無投票で当選者が決まった。任期は四年です。

当選者は次の通り。

瀬戸内海海区（定数九）
炭谷恒男（五四）＝明石市、無現▽浜野正己（五五）＝飾磨郡家島町、無現▽西尾敏夫（五八）＝津名郡北淡町、無新▽酒部竜三（五五）＝三原郡南淡町、無現▽大西俊男（五四）＝明石市、無新▽柳里（六二）＝津名郡五色町、無新▽中来田実（六七）＝津名郡東浦町、無現▽樫木実（六五）＝洲本市、無新

但馬海区（定数六）
村瀬和夫（五六）＝城崎郡香住町、無新▽木下　清（五五）＝豊岡市、無現▽吉岡修一（四七）＝城崎郡香住町、無新▽森田国男（五八）＝美方郡浜坂町、無現▽川口茂（五二）＝美方郡浜坂町、無現▽河本源一（五九）＝美方郡浜坂町、無現

ぎょさい20周年の記念誌刊行

漁業災害補償法制定並びに兵庫県漁業共済組合創立20周年を迎えて、このたび「漁業共済20年の歩み」が刊行されました。

内容は、県漁業共済組合西上組合長の〝刊行のことば〟、県漁連山田会長の〝漁業共済20年に思う〟県水産課溝尾課長の〝漁業共済の発展を願う〟のいずれも力のこもった挨拶が巻頭を飾り、つづいて法制定の経緯、漁業共済制度の概要、漁業共済組合の概要が、わかりやすい図表と共に解説され20年の足どりを浮きぼりにしています。

更にこの20周年を機に全国的に展開される＝漁業共済総加入運動＝を踏まえて一層の加入拡大への決意が読みとれ、またその為の簡便な手引書にもなっています。希望のむきは兵庫県漁業共済組合（県立水産会館内）へお申しこみ下さい。

番組のお知らせ

こちら海です
（放送予定）

毎週日曜日、正午よりサンTVで放送中

8月19日　兵庫県竹野町

＜テーマ＞
はものはえなわ漁
竹野町は夏まっ盛り。漁師の清水秀夫さんは、漁と民宿にお忙しい。漁ははえなわ漁、カゴ漁、イカ漁と様々な漁に活躍されています。

今回は、夏の竹野から漁と民宿の様子を紹介します。

8月26日　和歌山県すさみ町

＜テーマ＞
出稼ぎ定置と灯籠流し
16年前に三重県から、すさみ町に来て定置網漁に取り組んでいる人がいます。出稼ぎ漁に誘りを持ち、仲間たちとの協力で成り立つ定置網漁とそのくらしを紹介します。

他に魚のつかみどりや灯籠流しの観光もご紹介します。

兵庫県漁業共済組合
共水連兵庫県事務所　役職員配置図
681-9870
TEL 078-652-3621
652-3622
ファックス 078-681-5059

伊藤	小林	石原	吉中	牧野〈支務課長〉	（兵庫県漁業共済組合）
奥野		磯田	山本	北〈次長〉	（共水連兵庫県事務所）

西上〈組合長〉　岸〈専務・事務所長〉

昭和59年度

県下漁協貯蓄目標額四四〇億円に決定

兵庫県信漁連

去る七月三十一日、県下漁協信用事業推進協議会を開催し、本年度の県下貯蓄目標額並びに各組合ごとの自主目標額を決定するとともに、実施方策・具体的実施事項等を以下のとおり決定した。

■昭和59年度貯蓄目標額■

本年度は「全国漁協貯蓄二兆円達成運動」及び「兵庫県漁協貯蓄五〇〇億円達成運動」の第七年度として財蓄目標額四四〇億円の必達を期する。なお海区別の目標額は別表のとおりである。

■実施方策■

昨年より実施している「漁協信用事業強化運動」の展開を通じて、小規模漁協については、体制・機能の強化、手法・方策の見直しを行い、既に最低水準を超えている漁協にあっては、個々の実態に応じた資金量の確保を図ることを基本方針として、次の統一目標の具現化に努める。

一　漁協の組織基盤の強化

漁協信用事業としての特性、専門性を発揮するため、組合員との絆の強化、他事業部門との連けい強化等、個々の実態に応じた組織基盤の強化を図る。

二　漁協の金融機能の具備

(1)貯金・貸出機能の充実

組合員の営漁、生活に即した目的別金の品ぞろえや組合員に対する営漁生活関連資金貸付。

(2)決済機能の充実

為替機能の充実と年金・公共料金等の取扱い。

(3)システム化

信漁連EDPS計画に基づく事務処理体制の整備及び機械化加盟。

(4)指導・相談機能の充実

営漁、生活設計指導の充実による組合員の資金トータル管理と家計のメイン化。

■重点推進活動■

㈠平残運動への復帰を図り定着せしめる。

㈡系統外預貯金の漁協呼び戻しを図る。

㈢定期貯金の利息元加運動を展開する。

㈣外務活動と婦人部活動の活発化を図る。

■具体的実施事項■

一　漁協段階での実施事項

(1)組合員及び婦人部等を対象とした常会・座談会等の積極的開催。

(2)役職員等による組合員宅への月二回巡回訪問の実施。

(3)関連組織（婦人部・青壮年部）への働きかけの強化。

(4)マル優枠の有効利用（既利用者の限度枠拡大、未利用者の枠獲得）

(5)組合員に対する貯蓄商品のP・R、情報提供

二　信漁連段階での実施事項

(1)漁協信用事業強化推進方策についての参画、助言、指導等個別支援実施。

(2)金融機能の整備充実に対しての助成。

(3)貯蓄推進・合理化・機械化等全体協議会の開催。

(4)ポスター、パンフレット等の作成及び推進用品の共同購入あっせん

(5)その他貯蓄推進に必要な事項。

以上、本年度はこれら各項目に基づき、漁協・信漁連一本となって目標額四四〇億円の必達を期すべく所存でございますので、組合員並びにご家族各位の格別なるご協力を賜わりますようお願い致します。

■信漁連■

スローガン

貯金も融資もみな漁協
明日を築く漁協貯金

昭和59年度漁協貯蓄目標額表

（単位：百万円）

項目 ＼ 海区別	昭和58年度 貯金残高	昭和59年度 統増加目標額	残高目標額	計画伸び率
摂播海区	12,535	875	13,410	7.0%
淡路海区	7,893	1,007	8,900	12.8
但馬海区	21,081	609	21,690	2.9
県合計	41,509	2,491	44,000	6.0

対島暖流を赤外画像で見る

舞鶴海洋気象台
技術専門官　橋本祐二

日本海には対馬暖流が流れていて、漁業に直接あるいは間接的に多大の影響を与えていることは皆様はよくご承知のとおりです。この日本海の海況は観測船などによって数日から数十日間に得られた資料に基づく解析であり、また観測海域についてみても領海や漁業規制海域が設けられていて、日本海全域を把握することは困難な状況であります。

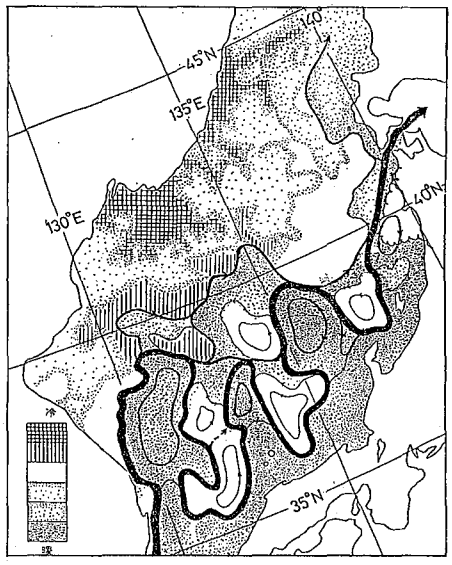
近年、人工衛星から海面水温などを測定する技術が開発され、雲や霧などの障害物がなければ瞬時にして広域の観測が可能になってきました。殊に秋季における日本海は鉛直混合が発達するので、赤外画像に現われる海面水温の高低を示す白黒の濃淡は海面以下の水温分布をも表しているものと考えられ、画像から識別される暖水域などの特徴は100m深水温分布図における暖水域などとよい対応を示しています。ここで軌道衛星ノア7号によって得られた赤外画像から対馬暖流の流路について考えてみたいと思います。

図は一九八二年十月二十七日における赤外画像の白黒の濃淡をその度合によって区分しスケッチしたものです。これによりますと、暖水域は本州寄りの沿岸域、韓国東岸域からウツリョウ島近海、隠岐諸島近海からその北方域、能登半島北西域、佐渡近海から男鹿半島西方域および北海道西方域に分布しています。また、朝鮮海湾や北韓40度以北にもやや低温ながら暖水域が点在しています。

一方、冷水域は沿海州の沿岸域、ピョートル大帝湾とその南方域、大和堆南西域などに分布しているほか、本州寄りのものは能登半島方域、隠岐諸島の東方および西方域に存在しています。これで暖水域や冷水域の分布が分りましたが、対馬暖流はどのような経路で流れているのでしょうか。

ここで水温分布と流れとの関連をみると、流れの速い海域は水温躍層が急激に浅くなっていると ころ、つまり暖水と冷水との境界に位置していて、冷水を左にみて流れていることが分っています。このような観点から、海洋観測資料をも参考にして暖流の流路を推定したものが図に示した曲線で、太いものほど水温差の大きな境界であって流れも速いことを意味しています。

これによりますと、暖流は韓国東岸に沿って北上し、ウツリョウ島の北方域で大きく迂回し南下して島根沿岸に接岸しています。その後は再び北上と南下を繰返して大きく蛇行する主流のほか、主流を短絡する分流と合流が各所にみられ、暖水域では右施流が形成され、冷水域には左施流の存在をうかがうことができます。このように衛星のもつ広域同時性を利用した一例を示しましたが、従来の船による海洋観測の重要度にいささかも変化がないことを加付し衛星からみた対馬暖流の話をおわります。



1982年10月気象衛星ノア7号の赤外画像のスケッチ

と漁況　兵庫県立水産試験場

海況

播磨灘

4～5日の調査結果によると、表層水温東部～南西部21・5℃内外、北西部23・0℃台、中層全域19・0～20・0℃台、底層では西部の一部で15・5℃の低温域がみられるが、それ以外は17・0～19・0℃台を示した。これを平年に比較すると、東部～南西部にかけて表層では平年並、北南部の沿岸寄りでは1・0℃内外高目に転じている。また中、底層域では全域1・0℃内外（西部底島の一部でマイナス2・9℃）低目ではあるが、本年一月からの長期間持続した異常低水温分布もほぼ平年並に回復した。

大阪湾西部（淡路島寄り）

12日の調査結果によると、北部海域では表層22・0℃内外、中、底層20・5～21・0℃を示し、平年比較では、表層マイナス1・0℃、中、底層マイナス1・5℃と低目。南部海域の表、中層は22・0～23・0℃台を示してほぼ平年並、底層は20・8℃で1・0℃低目であるが、播磨灘同様本月に入りほぼ平年並の水温に回復している。

紀伊水道北部

12日の調査結果によると、東部海域の表、中層は22・0～23・0℃、底層20・4℃。西部海域は各層とも21・0℃内外を示した。これを平年に比較すると、西部海域の各層でマイナス1・5℃内外と低目を示しているが、東部海域の中層では逆にプラス1・0℃内外と高目、中部海域は平年並からやや低目となっている。

漁況

明石海峡周辺

小型底曳網ではメイタガレイ、マコガレイ、アナゴ、エビ類、オコゼ、カサゴ、アイナメなど。吾智網でマダイ。曳縄釣でスズキ、セイゴ、マルアジ、マサバなど。延縄でスズキ、アナゴ。刺網でマコガレイ、アイナメなどが主要漁獲物となっている。

特徴としては延縄及び曳縄釣によるスズキ漁は前月よりも減少しての例年に較べれば好漁である。また底曳網によるアナゴの入網が例年よりも多い、反面マダコは小ダコ主体に少量の入網がみられる程度である。

鳴門海峡・紀伊水道周辺

小型底餌網でエビ類、シタ類、アナゴ、テナガダコなど。吾智網でマダイ、クロダイ。まき餌釣でマダイ、クロダイ、ハマチなど。曳縄釣でサワラ、一本釣でアジ類、キス、マダコなど。延縄でハモ。刺網でアカシタビラメ、キュウセン、アイナメ、キス、カサゴ、メイタガレイ、マダコなど。壷縄及び籠縄でマダコなどが漁獲されている。

特徴としては、延縄による紀伊水道域でのハモ漁は前月から好漁が持続している（一日一隻当り30～50㌔）。またマダコについては、北部域での不漁に対して、南部域では平年漁を示している。

友ケ島水道周辺

小型底曳網でマダイ、エビ類、マダコ、アナゴ、ハモなど一本釣でマダイ、アジ類、タチウオ、マダコ。刺網でキス、アカシタビラメ、マコガレイ、キュウセンなど。延縄でハモ、カサゴ、アナゴ、キジハタ。壷縄でマダコなどが主要漁獲物となっている。

明石海峡・播磨灘東部（明石浦）

漁種	隻・統数	主漁種	1隻日平均 漁獲量（㎏）	価格（円）
小型底曳網	50	メイタガレイ	3～5	5,000～4,000
		マコガレイ	3～5	3,500～2,500
		アナゴ	5～15	700～ 650
		オコゼ	3	4,000～2,000
		サルエビ	3～4	1,500～1,150
	2～3	カサゴ	40～60	2,000～ 200
		アイナメ	10～20	3,000～2,000
		アナゴ	4～5	700～ 650
吾智網	5	マダイ	10～15	7,000～2,500
一本釣	50	スズキ	10	4,800～3,300
	20	マルアジ	10～15	1,800～1,600
		マサバ	10～15	600～ 400

水産業改良普及員だより
摂播地区漁協青年部の活動

白い積雲が空にわきだち、本格的な夏が到来しました。各漁協青年部では、この暑い夏こそ、栽培漁業実践の時期であり、諸々の活動等の中で、健康的な汗を流されていることと思います。

さて、前置きはこのあたりで止め、今日は摂播地区漁協青年部の活動、とくに栽培漁業、増養殖試験の現況について紹介したいと思います。

赤穂漁協（以下、漁協は略します）では、鳥取県で親貝を購入し、ハイの種苗生産をおこなってきましたが、今年は三年めにあたり、放流効果と移動範囲を探ろうと稚貝に標識をマークし放流する計画もあったのですが、残念ながら種苗生産の段階でトラブルが生じました。来期の成功と大量放流の成果を期待するところです。

貝と言えば、家島で赤貝の養殖試験を実施しています。この試験は漁青連の指定課題で当地区のイタヤ貝養殖の経験を生かしアタックしようとするもので、過日、山口県から種苗を購入しました。赤貝は昨年まで高砂で検討されたり、また淡路地区でもかって試験されたと聞いておりますので、これらの先進地区との交流により問題点を抽出して適確な成果をあげていただきたいものです。

さて、地域栽培漁業の高まりを掲げて幅広い活動を実践している岩見では、さきほど高歩留りの好成績でヒラメ稚魚（日栽協産）を放流したところですが、これに続いて先日、二十日間の中間育成を経て一万尾強のガザミ（甲幅長四〇ミリ）が青年部のみならず、組合員の皆さんの多くの手によって放流されました。当漁協では昨年、県下で初めてガザミの中間育成を試みました。この時はシエルターとして「廃ノリ網」を活用し一応の成果をおさめたのですが、今年は二年めにあたり、稚ガニの立場になった環境づくりに工夫がなされました。それはシエルターを必要とする数日間のことよりも、育成期間中全てを考え、陸上水槽の底に小石を敷き稚ガニがゆったりと安心して摂餌、生育できる場を提供したことでした。林崎でも今年からガザミの中間育成をスタートされたと聞いておりますが、さて結果はどうだったか、興味のあるところです。いずれの魚種にも共通しますが、丁重に管理をおこない大きく生長する稚仔を観察する時の喜こびは大きいものがありますが、ガザミが「ガザミ」らしくたくましくなっていく過程は大変好ましく、ほほえましく感じます。

現在、県から種苗配付をおこなっているものはクルマエビ、ガザミ、マダイ、ヒラメ、マコガレイ、アワビの六魚種ですが、各地各所の至適魚種が各地区の様々な条件の下で多くの方々の手により中間育成から放流、そして資源管理の試みがなされています。魚種によって大きく問題点を我々に残していったものもあれば、見かけ上は技術的に完成しているものの、実際はまだ未完成のものもあります。また、県レベルで把握不充分なものもあれば、今後明確にしていかなければならないこともあります。

「これからの水産業は、漁場造成、栽培漁業、後継者づくり」とよく言われますが、放流するからには最終目標である漁獲量に結びつかなければならないし、青年部活動がなお一層盛んになるため大量に放流することも必要かとも考えます。我々が日常茶飯事と考えている栽培漁業、青年部諸活動、水産業の現状等、一度ゆっくりと考えることも必要ではないでしょうか。

最後に、他にも活発な活動をされている青年部が多々ありますが、紙面の都合上と不勉強のため止むを得ず省略させていただきましたことをお詫びすると共に、栽培漁業のみならず、経営問題、協同意識向上等広範囲で息の長い青年部活動の実践を期待します。

姫路農林水産事務所

生活改善通信
坊勢の生活

坊勢島は、姫路から約十八キロメートル沖の瀬戸内海に浮かぶ、人口二千八百人の小さな島である。

坊勢では、島の人口の約八割が漁業により生活している。

〝坊勢の漁業〟

かつて漁業の中心は、坊勢より家島本島であった。しかし、本島では、海運業へと転職する者が多く漁業は衰えていったが、反対に坊勢では、打瀬網漁法の使用から、底びき網漁業へと時代にあった漁法を行うことにより現在もなお、漁業が産業の中心となっている。

坊勢の漁獲量は多く、兵庫県下二位の成績である。

そのため島には、大きな家が建ち並び、漁家の生活水準は高くなったと言われている。

しかし、最近では海洋汚染による漁獲量の減少等新しい問題が発生しつつある。

〝物価の高い坊勢〟

自然が美しく、人情味豊かな坊勢ではあるが、物価が非常に高いこと、これが生活上の一番の問題である。離島という性質上しかたがないことではあるが、野菜類等は特に高く、姫路市場の約二～三倍はするといわれている。

〝漁協婦人部の活躍〟

そこで、「家を守り、生活を預かっている私たちが、がんばらねば」と始めたのが、漁協婦人部による共同購入活動である。月一～二回、姫路まで、船を出し生活必需品を多量に買い込んできて島の人たちに安く売るのである。これまでは、姫路まで買い出しに行き買いだめをしていた人たちも、この活動により島にいて安く物が買えると好評である。

昭和五十三年に始まって早いもので七年になろうとしているが、島内の食糧品組合との連携が必要になってきている。

〝地域婦人会による生活改善〟

まえにも述べたように漁獲量の多い坊勢では所得も高く生活が派手になりがちであり、特に交際費が多く使われている。

そのため、地域婦人会では、無駄なお金の流出を減らそうと成人式の服装は買素にする等、色々な取決めを行い現在活躍中である。

また、漁協婦人部と地域婦人会が手をとりあってそれぞれの分野から少しでも、生活における無駄を省くよう活動を行っている。

〝生活教室で〟

三年前より、自分たちの生活は自分たちで良くしようというグループができ、食生活改善を中心に月一～二回話し合いや実習を行っている。最近の研究課題は、トロ箱を利用して狭い場所でもできる簡単な野菜栽培を計画中である。

〝今後の課題〟

坊勢の漁家の婦人たちに「忙がしいですか」と聞くと「坊勢の主婦は三食昼寝付きで大変ひまです」と答える。これは、働きたくても働くところがないという理由が大きいようだ。

この余った婦人の力を生活改善にどう活用するかが今後の課題である。

魚と野菜の上手な利用法実習風景

7月の海況

吾智網	4	マダイ	2	4,130
		〃（小）	5	1,700
		カタクチイワシ	25	1,350
		クロダイ	2	1,150
一本釣	29	サワラ	2	1,700
		サワラ	9	970
	7	キス	2	1,940
		シログチ	2	350
	20	マサバ	70	100
		マルアジ	15	800
	2	ウマヅラハギ	25	300～200
	19	マダコ	5～6	970
	2組	マダイ	3	2,200
		〃（小）	1	1,700
		クロダイ	1	1,150
		ハマチ	4	1,030
延縄	21	ハモ	40～50	4,800
		エソ	20	90
籠縄	5	マダコ	25	970
		カサゴ	5	1,200～350
壺縄	3	マダコ	60	1,250
刺網	7	マダイ	2	1,100
		クロダイ	3	1,000
		イナダ	1	1,500
		アメリカガレイ	2	2,500
		マコガレイ	2	2,000
	2	キュウセン♂	10	1,500
		〃♀	10	800
		キス	3	1,500
		メバル（中）	20	800
		〃（小）	7	300
		ヤナギゴコロ	5	1,000
		ハタ	4	950
			1	3,000
延縄	7	ハモ	33	4,500
	3	カサゴ	16	1,400
		アナゴ	10	790
	3	キジハタ	7	5,300
壺縄	1	マダコ	35	1,100

紀伊水道北部（沼島）

小型底曳網	45	サルエビ（大）	10	1,200
		〃（中）	5	800
		〃（小）	50～60	170
		マアナゴ	10～15	530
		ヤナガダコ	20～30	100
		テハモ	1	2,800
一本釣	50	アジ類	10～15	1,700～1,500
	2	キス	1～2	2,000
		キュウセン♂	10	1,000
延縄	5	ハセ	20～30	4,900～4,000
刺網	25	アカシタビラメ	30	1,400～1,300
	3	サザエ	5～6	1,100
		カサゴ	2～3	1,000～500
突棒	2～3	アワビ	1～2	3,000～2,500
		サザエ	4～5	1,100

鳴門海峡・紀伊水道（福良）

小型底曳網	17	ヨシエビ	2	5,000
		サルエビ（大）	1	1,800
		〃（中）	1	700
		〃（小）	40	300
		アカシタビラメ	2	2,000～1,000
		その他	5～6	800

友ケ島水道（由良町）

小型底曳網	7	マダイ	25	3,200
	68	ハモ	3	4,700
		アナゴ	5	780
		マダコ	12	860
		サルエビ	4	1,340
		〃（小）	52	230
		その他	8	400
一本釣	30	マダイ（小）	4	3,000
	10	アジ類	7	1,500
	25	タチウオ	30	760
	15	マダコ	7	880
刺網	3	キス	8	2,200
	10	マコガレイ	4	3,500
		キュウセン	10	1,200
		その他	10	700
	7	アカシタビラメ	27	1,500

「ひょうご海の子」絵画・作文を募集

兵庫県漁業協同組合連合会＝絵画
兵庫県漁協婦人部連合会＝作文

毎日の暮らしの中で、限りない海への愛情や、明るく豊かな漁村を作るために精を出しているお父さんやお母さんたちの姿などを絵や作文に書いて次の募集要領でふるって応募して下さい。

募集要領

△絵　画▽

一、応募資格

兵庫県沿岸市町の小、中学生とする。

二、応募作品

(1) 作品は絵画とし、題材は「海」又は「漁業」に関係するもの

(2) 作品の大きさは60㎝×45㎝とする。

(3) 応募点数は一人一点とし、一学校三〇点以内とする。

(4) 提出された作品は原則として返還しない。

三、応募方法

応募作品は各漁協でとりまとめのうえ、兵庫県漁連指導部まで提出するものとする。

四、応募締切

昭和五九年九月二九日（土）までとする。

五、表彰等

(1) 応募作品の中で優秀作品を「全国海の子絵画展」に出展する。（小学校の部四点・中学校の部二点）

金漁連では応募作品の中から次の賞に該当する優秀作品を選定する。

『特別賞』

①文部大臣奨励賞（小学校の部一点・中学校の部一点）

②農林水産大臣賞（〃一点・〃一点）

③水産庁長官賞（〃四点・〃二点）

④日本放送協会々長賞（〃四点・〃二点）

⑤教育美術振興会々長賞（〃四点・〃二点）

⑥農林中央金庫理事長賞（〃四点・〃二点）

『全漁連会長賞』

各県の規定応募点数×参加県数（小学校の部四点・中学校の部二点）

(2) 県漁連では応募者全員に記念品を贈呈する。

(3) 応募作品は必要に応じ展示し、関係者に公開する。

△作　文▽

一、応募資格ときまり

第一部　漁村地域の小学校一年～三年（四〇〇字詰原稿用紙三枚以内）

第二部　漁村地域の小学校四年～六年（〃　〃）

第三部　漁村地域の中学生（〃　四枚以内）

表彰風景

学校一年～三年（四〇〇字詰原稿用紙三枚以内）

第二部　漁村地域の小学校四年～六年（〃　〃）

第三部　漁村地域の中学生（〃　四枚以内）

二、応募方法と期日

作品には必ず、①題名②氏名、③、性別、④学校名・学年を記入し地域の漁協婦人部または漁業協同組合に九月二九日までに提出して下さい。

三、賞

優秀作・佳作若干名

いずれも賞状と記念品を贈呈します。

その他不詳の点は次のところまでお問い合せ下さい。

神戸市兵庫区中之島二―二―一

兵庫県漁連指導部指導課

（℡〇五八六―六六二四）

兵庫県漁連会長賞

各部毎に一名計三名

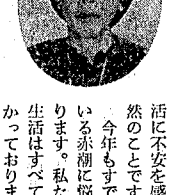
兵庫県漁婦連会長賞

いずれも、今までどこにも応募しない作品で、ひとり一点に限ります。

◇◇随　想◇◇

洲本漁協婦人部長　児島みや子

私たち婦人の生活は家庭の幸福を基礎としうちに老人があれば老人の世話をし主人の身を突じ又子供の行く末を考えたり親のため主人のため子供のため日々を送っています。



私たち漁協婦人は家庭の事だけを考えていたのでは家族の幸福は十分に図れません。

それは主人の水揚高が生活を大きく左右するからです。水揚が少なかったり不漁の日が続くと生活に不安を感じるのは当然のことです。

今年もすでに発生している赤潮に悩まされております。私たち漁業者の生活はすべて「海」にかかっております。これからは水産資源の保護はもとよりとる漁業からつくる漁業へと時代もうつり変ってきております。

淡路でもいろいろな面で養殖漁業に力を入れて

おります。又婦人部としても一般主婦の魚ばなれから少しでも魚を食べてもらうよう料理講習会等を開き魚食普及に力を入れております。これからも婦人部員一人一人が豊かな美しい海を守り家族が手をとり合い、漁業者みんなが健康である事を祈ってやみません。

戦後の混乱と復興

（二）の1

7五月一九日　正午過ぎ会長を自宅に訪問、辞表対策についての県水産課、県水、地方事務所各長の意見を伝え、当分静観を乞いて辞去。午後三時より役員会。

8六月二六日　役員会。会長辞表提出の件公表。受理すべきか否かで議論沸騰。朝の九時より夜九時四〇分まで。ついに結論出ず。ヘトヘトになる。

9六月二八日　早朝小林要君来訪。佐津水産問題話し合う。彼の言動が単に永田氏に対する感情問題でないことは理解した。自分は彼に切角成立した佐津水産を逆に利用することを考えるべきだと強調しこのことにつき一応県水産課長の意向を聞くことにし明日県水総合の会場で落合うよう上神の打合せをなす。

10六月二九日　正午小林君県水総会会場に来る。閉会まで待ってもらい、閉会後県水小田専務、小形総務部長、浜田経理部長に県水産課藤田主事をまじえ佐津水産利用の件懇談次の結論に達す。

㈠佐津水産の資本置換（地元が相当の資本を出し中尾独占体制を弱める）

㈡船舶提供は佐津水産、許可名義は漁業者とし経営については極力漁業者を有力ならしむ如く契約上その明確化を期す。

㈢適当の時期に漁業者が希望するなら船舶譲渡を契約上明記せしめる

㈣以上の要求を会社が難色を示すようなら県水が斡旋に乗り出す。

右の次第につき小林君は課長に逢う要なきに至れるを以て同君に近日開催の船主総会〝小林の言動は真に漁村を愛うる至誠より発するものたること。現状打開のためには既に存在する佐津水産を利用して漁村福祉向上に会社を協力せしめる〟の意見陳述機会を与ることを約し同君と別

漁協一代（その十五）作花英治

10七月一日　水産課に至る。

10七月一日　水産課に至り課長に一昨日県水における懇談の結果を伝えその見解を質す。次の如し

㈠会社が地元漁民の福利を蚕食することは拒まねばならぬ

㈡漁民がなすべきことをなさずして会社の仕事を拒むことはいけない（反対のための不対は不可の意）

㈢底曳許可は従来の実績漁民に与えるのは勿論だが会社の新規許可にしても認める用意がある。すなわち同業者が傍傭船等の代船着業に積極的協力をなさずして、会社の企業を只反対では食糧増産の見地より会社への新規許可を認めざるを得ないということである。

㈣会社の船を漁業者が借りて実際に経営するなら漁業者に許可を与えるが、単に名義だけ使わせて実際の経営を会社がやるのであれば漁業者に許可を与えるわけには参らぬ。

㈤資本を地元が分け合って持って呉れるなら何ずこれを利用し会社も採算ベースに乗せてやるとの話し合いがつけばどのようにでもしてやる。漁業者への将来の許可の保証は会社との裏契約でどうにでもなるのではないか！

以上岡井課長の心底は「会社反対の反対はやめよ。会社は漁業者のためにも金だけ出してやれというのは虫が良過ぎる。しかし会社が譲歩するならどのようにでもしてやる。妥協がつかぬなら会社への新規許可もやむを得ず」ということと理解す。

11午後七時帰村。直ちに会長宅に赴き神戸における懇談経過報告。課長の見解は伏せて、会社として譲歩の線を示されたいと迫り次の見解を開かさる。

㈠資本を地元が分け合って持って呉れるなら何時でも分譲の用意あり

㈡船の建造資本は金額会社が出しているのであるから経営主体は会社にしておいて将来の独立経営資格は契約で保証する。

㈢船の経営方法は目下慎重検討中なるが、船長を純然たる雇傭人にすると、能率増進のため歩合給以外の給与を考えねばならぬ。そうなると漁民同業船との歩調を乱すので面白くない。歩賃とか純益分配とかの方法で同一歩調を執りたい心算。

㈣会社は漁村の利益を蚕食するような考えは毛頭なし。漁業会の傘下に在って漁村発展に協力することは勿論なり。これでは小林君主張の単なる資本会社になって呉れとは言い出せず話を打切る。

（次号につづく）

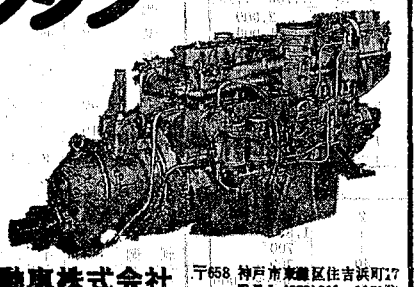
編集航記

拓水は現在2650部を発行している。本月追加の申し込みがあり編集部においてはたいへん嬉しい話である。漁業者年金兵庫県推進協議会幹事会議が開催され、昭和五十九年度目標一、五〇〇名を達成すべく県下漁協へ推進依頼を行い、たちまち遅れを克服する。この年金は、漁業者の老後の生活安定と福祉の充実を図るため、昭和56年度全国の漁民、業界あげて要望し産声をあげたものだが現実には加入推進に時間と経費がかかっている。理由にはいろいろあげられるが、かなめとしては漁業協同組合が柱となって推進に猛進していただく他ないのではないか。漁協では職員が少ない上仕事の種類が多くなってあれもこれもとたいへんであるが、漁民福祉もこうた努力の結晶と言えることができます。

残暑きびしき折船上での仕事ご苦労さんでございます。夏バテしないようがんばって下さい。ロスアンゼルスオリンピックではどの選手も一生懸命で、はつらつとした姿が美しい。その結果がいかになろうとも。

おわびと訂正

七月号拓水中号中見輝の中(3)で兵庫県漁業信用基金協会長名、宗野重徳氏の誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

いすゞ マリンエンジン　高速への挑戦！
UM06BBIB
特長
1.小型、軽量、高出力
2.卓越した耐久性、信頼性

神戸いすゞ自動車株式会社　〒658 神戸市東灘区住吉浜町17 TEL(078)811-1171(代)

世界で活躍する技術のヤンマー
ディーゼルを極めたヤンマーが贈る先進の24バルブ

新登場
6GH-DT 最大320ps/2300rpm・法馬力数90
●4～5トンクラスに最適。●このクラス最軽量。
●水産庁基準適合低燃費機関
ヤンマーディーゼル
●カタログご希望の方は、本社・最寄支店へ拓水係へ。
ヤンマーディーゼル株式会社